平成 28 年度

9月補正予算事業概要説明資料

# 目 次

| (総務部)                   |   |   |   |   |   |   |     |
|-------------------------|---|---|---|---|---|---|-----|
| 空家等対策協議会設置事業            | • | • | • | • | • | • | 1   |
| 市営バス運行事業                | • | • | • | • | • | • | 2   |
| 神岡振興事務所窓口移設事業           | • | • | • | • | • | • | 3   |
|                         |   |   |   |   |   |   |     |
| (企画部)                   |   |   |   |   |   |   |     |
| ふるさと納税推進事業              |   |   |   |   | • |   | 6   |
| 最先端宇宙物理学研究施設一般公開事業      |   |   |   |   |   |   | 7   |
| 市内高校魅力発信情報紙発行事業         | • |   |   |   |   |   | 8   |
| 川門同久魀刀光山旧和枫光刊事未         |   |   |   |   |   | - | 0   |
| (商工観光部)                 |   |   |   |   |   |   |     |
| コンベンション誘致推進事業           |   |   |   |   |   |   | 9   |
| 北陸圏観光誘客促進事業             |   |   | • | • | • |   | 1.0 |
|                         |   | • | • | • | • | • | 1 1 |
| 「飛騨古川 - 新宿高速バス」利用促進啓発事業 | • | • | • | • | • | • | 1 1 |
| (市民福祉部)                 |   |   |   |   |   |   |     |
| 「木育ひろば」設置事業             | • | • | • | • | • | • | 1 2 |
| 障がい児通所支援給付・独自減免事業       | • | • | • | • | • | • | 1 3 |
| 雪下ろしサポートセンター設置事業        | • | • | • | • | • | • | 1 4 |
| 介護ロボット導入支援事業            | • | • | • | • | • | • | 1 5 |
| 特定健診情報提供事業              | • | • | • | • | • | • | 1 6 |
| 居宅介護福祉用具購入給付事業          | • | • | • | • | • | • | 1 7 |
|                         |   |   |   |   |   |   |     |
| (農林部)                   |   |   |   |   |   |   |     |
| 乳用牛導入基金事業・乳用初妊牛増頭対策支援事業 | • | • | • | • | • | • | 18  |
| (CN/ Fide Landson)      |   |   |   |   |   |   |     |
| (消防本部)                  |   |   |   |   |   |   | 1.0 |
| 女性消防団車両購入事業             | • | • | • | • | • | • | 19  |

# 新規 空家等対策協議会設置事業

1 事業費(単位:千円) 【財源内訳】 【主な使途】

139 一般財源 139 報酬 108

(現計予算 0 ) 費用弁償 31

## 2 事業背景・目的

市は周辺住民に不安を抱かせるなどの悪影響を与える特定空家等の発生防止と、所有者に必要な措置を講ずることを目的に「飛騨市特定空家条例」を制定しています。

また、昨年2月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が施行され、市町村長に対し、特定空家等の除却、修繕、立木竹の伐採等の措置の助言又は指導、勧告、命令という権限が与えられ、さらに要件が明確化された行政代執行の方法により強制執行も可能となりました。

この特別措置法を適用し、市内の空家等に関する対策協議を行うため、法律上必要とされる「空家等対策協議会」を設置します。

【市民との意見交換会等での主な意見】

・市が主導して廃屋対策を

### 3 事業概要

#### 〇空家等対策協議会設置経費(139千円)

市内の空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するための「空家等対策計画」 の作成及び変更並びに実施に関する協議を行なうための協議会を設置します。

「空家等対策計画」策定にあたっての主な協議内容

- 1. 基本的方針
- 2. 特定空家等に関する判定の手続き
- 3. 特定空家等の判断基準
- 4. 特定空家等に対する措置
- ※協議会の委員には、市長、区長会長、市議会議員、学識経験者などを予定し、協議会は3回開催。

| (款) | 23 | 総費(項) | 1 総務管 | 理費 | (目) | 1一般管理費 |
|-----|----|-------|-------|----|-----|--------|
| 所属  |    | 総部    |       | 紛  | 務課  |        |

# 拡充 市営バス運行事業

1 事業費(単位:千円) 【財源内訳】 【主な使途】

13,800 一般財源 13,800 委託料 13,800

(現計予算 98,219 )

### 2 事業背景・目的

昨年10月に公共交通の再編を実施した結果、各地区からの要望を始め、市民と市長の意見交換会において多数の意見・要望等を頂きました。

このうち、要望等が特に多かった割石温泉関係、飛騨市民病院関係については、現地でのアンケート調査や直接バスに乗車して乗客から聞き取り調査を実施しました。

また、各地区からの要望や調査結果をもとに、経由地の見直しや利用者の極めて少ない便を廃止するなど改正案を作成し、関係地区での説明会を延べ11回開催しました。 これらを踏まえ、飛騨市公共交通会議で承認された改正案に基づき、10月からの一部路線の変更やダイヤの改正を行います。

#### 【市民との意見交換会等での主な意見】

- ・昨年からのダイヤ改正で非常に不便を感じている。
- ・乗継が発生するようになり、料金が高く(倍に)なっている。

#### 3 事業概要

# 〇有償バス運行委託事業(13,800千円)

- 10月からの1日乗車券等の新設及びバスダイヤ等の主な改正は以下のとおりです。
  - 1. 1日乗車券新設(旧町村内 400円、旧町村をまたぐ場合 600円)
  - 2. シルバーフリー定期券新設(旧町村内 4000 円・旧町村をまたぐ場合 6000 円/月)
  - 3. 割石温泉との直通便の運行(柏原線・神岡東部線)
  - 4. 神岡町緑ヶ丘、弥生町、西野町を経由(かみおか循環乗合タクシー)
  - 5. 神岡町山田地内の郵便局・JA・診療所を経由(柏原線)
  - 6. 神岡町殿地内の J A・老健たかはらを経由(神岡東部線)
  - 7. 土日祝日の午後の運行(河合・宮川乗合タクシー)
  - 8. 増便(稲越線・桃源郷線・月ヶ瀬線・宮川線)
  - 9. 利用の極めて少ない便の廃止(太江線・稲越線・桃源郷線・月ヶ瀬線・宮川線・柏原線・ふるかわ循環乗合タクシー・かみおか循環乗合タクシー)

| (款) | 2 % | 総費(項) | 1 総務管 | 理費(目) | 9バス運行費 |
|-----|-----|-------|-------|-------|--------|
| 所属  |     | 総部    |       | 総務課   |        |

# 神岡振興事務所窓口移設事業

1 事業費(単位:千円) 【財源内訳】 【主な使途】

5,000 一般財源 5,000 工事請負費 5,000

(現計予算 0)

### 2 事業背景・目的

平成 27 年度の神岡振興事務所耐震工事及び神岡図書館移転に伴い2階と3階に事務所機能を移転しました。しかしその後の「市民と市長の意見交換会」等において、3階に戸籍や証明書等を取りに行くのは高齢者には負担が大きいと多くの意見がありました。こうした市民の声を受けて、市民窓口となる市民福祉係を3階から1階に移転することにより、神岡振興事務所来庁者の負担を軽減し、行政サービスの改善を図ります。

# 【1階窓口での取扱予定業務】

戸籍に関する業務、住民基本台帳及びマイナンバーに関する業務、戸籍・住民票・印鑑証明等の交付、児童手当、児童扶養手当の受付、国民健康保険、福祉医療に関する業務、年金に関する業務、児童福祉・老人福祉・介護に関する業務、障がい者に関する業務、生活保護に関する業務、所得証明書・課税証明書の発行等

#### 【市民との意見交換会等での主な意見】

- ・市民窓口は大事。元の形に戻して欲しい。
- ・高齢者のために1Fに受付カウンターを設置して欲しい。

#### 3 事業概要

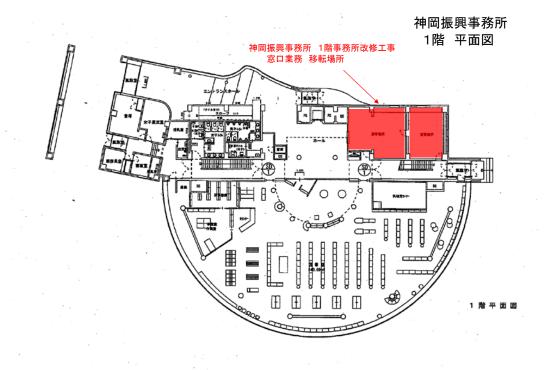
#### 〇庁舎改修工事(5,000千円)

- (1)改修工事の概要
- ・現在の1-1会議室の北側壁面を撤去し、移動式カウンターを設置
- ・閉庁時セキュリティ対策用のパネルカーテンを設置
- ・事務所に必要な情報LAN、電話回線の整備

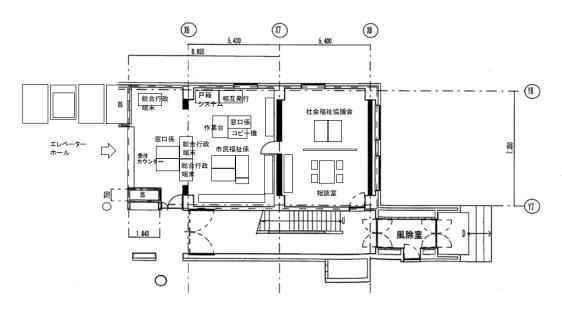
#### (2)主な工事内容

内装工事、建具工事、情報LAN工事、電気工事、電話工事

| (款) 2 総 | 務費 | (項 1総務節 | 曊 | (目) 5 財産管理費 |
|---------|----|---------|---|-------------|
| 所属      |    | 総結      |   | 財政課         |



# 神岡振興事務所 1階 事務所改修工事 配置予定図



# 神岡振興事務所 1階事務所改修工事



窓口業務移転予定の1階会議室



窓口業務が移転予定の会議室内部

# 拡充 ふるさと納税推進事業

1 事業費(単位:千円) 【財源内訳】 【主な使途】

1,650 一般財源 1,650 使用料 1,345

(現計予算 76,992 ) 手数料 237

負担金 68

### 2 事業背景・目的

全国的にふるさと納税の規模が拡大しており、飛騨市においても昨年度を上回るペースで寄付が寄せられています。従来の「ふるさとチョイス」利用に加え、「ANA ふるさと納税」の利用も決定しましたが、さらなる窓口の拡充を図る目的で新たに「楽天ふるさと納税」を追加し、より多くのターゲット層へのアプローチを図ります。

また、複数のサイトを利用することにより、事務の複雑化が予想されるため、事務作業の効率化とミス防止を図る目的で、管理・運営のシステムを導入します。

# 3 事業概要

# ①ふるさと納税支援サイトの活用拡大(650千円)

本年 11 月を目途に新たに「楽天ふるさと納税」のサイトを活用することで、より多くのターゲット層へアプローチし、飛騨市及び市特産品の PR を強化します。

楽天サイトは、国内最大級のeコマース市場と知名度をもち、楽天市場での買い物と同じ感覚でふるさと納税の手続きが行えるなどメリットが大きく、ふるさと納税の拡大が期待できます。

# ②複数のポータルサイトを総合的に管理するシステムの導入(1,000千円)

今後、複数のポータルサイトを活用することにより事務作業が増加し、複雑化する ため、総合的に管理・運営できるシステムを導入し、事務の効率化及びミス防止を図 ります。

| (款) 2約 | (款) 2総費 |     | 理費 | (目) 1- | 般管理費 |
|--------|---------|-----|----|--------|------|
| 所属     |         | 企画部 |    | 企      | 輠    |

# 新規 最先端宇宙物理学研究施設一般公開事業

1 事業費(単位:千円) 【財源内訳】 【主な使途】

2,365 諸収入 600 委託料 1,000

(現計予算 0) 一般財源 1,765 役務費 824

その他 541

#### 2 事業背景・目的

政府より国有施設の中で観光資源として価値あるもの、国民に見てもらう価値のあるものを積極的に公開することについて関係省庁に検討が要請され、公開対象となる15の施設にスーパーカミオカンデも含まれています。本要請に基づき、東京大学宇宙線研究所、宇宙まるごと創生塾飛騨アカデミー及び市が共催体制で一般公開を年度内に試行的に実施することとなりました。市は一般公開に必要な経費の一部を支援するとともに、その公開を盛り上げるために、実験施設へのバス移動の発着点である神岡町公民館でのイベント開催やノベルティグッズの製作を行います。

### 3 事業概要

### ①スーパーカミオカンデー般公開(市が負担する経費 1,420 千円)

実験施設へのバス借上料金や坑内保安料、保険料など必要経費について支援する。 なお、参加者からは参加料をいただく予定です。

【実施日】 年度内(検討中)

【募集人数】 300名程度 ※小学生以上(但し、小学校低学年は保護者同伴)

【募集方法】 一般公募

【コース概要】神岡町公民館発~スーパーカミオカンデ見学~神岡町公民館着

#### ②一般公開にあわせて市が実施するイベント委託費(250 千円)

スーパーカミオカンデの一般公開にあわせ、神岡町公民館で宇宙物理学研究に関する講演会やSK映像紹介などを開催する。

# ③ノベルティグッズ製作委託費(500千円)

宇宙物理学研究に関連するノベルティグッズの製作をおこない市内外へのPRに活用する。

#### ④宇宙物理学研究紹介パンフレット制作(195 千円)

平成 26 年度に製作したパンフレットを更新する (5 千部を予定)。梶田先生のノーベル物理学賞受賞の紹介や試験観測を開始した大型低温重力波望遠鏡「KAGRA」の最新状況を分かりやすく紹介するパンフレットとし、広く市内外にPRする。

| (款) 2系 | 務費 (項 | 1) 1総務管 | 理費 | (目) 6 企画費 |  |
|--------|-------|---------|----|-----------|--|
| 所属     | 企     | 画部      |    | 企画課       |  |

# 新規 市内高校魅力発信情報紙発行事業

1 事業費(単位:千円) 【財源内訳】 【主な使途】

400 一般財源 400 委託料 400

(現計予算 0)

# 2 事業背景・目的

吉城高校及び飛騨神岡高校の定員割れが続く中、高校、地域住民、飛騨市が一体となり、魅力ある地元高校づくりに取り組んでいます。

当事業は、こうした魅力づくりと合わせて、両校で行われている特色ある教育活動について掲載した情報紙を発行し、高校進学を迎える中学3年生及び保護者を中心に幅広くPRするものです。

志望校を検討される時期に、両校の特色ある魅力を伝えることで、市内外から市内高校への入学促進を図ることを目的としています。

# 3 事業概要

#### 〇吉城高校・飛騨神岡高校の魅力発信情報紙作成及び配布(400千円)

- ・吉城高校及び飛騨神岡高校の特色ある教育活動や部活動等の学校生活について、教 員や生徒への取材を行い、学校生活や進路状況のリアルな内容を分かりやすく紹介 するタブロイド版の情報紙を作成します。
- ・情報紙は、中学3年生が高校進学の検討を始めるタイミングに、飛騨地域2市1村 (飛騨市、高山市、白川村)に新聞折込で配布します。
- ・情報紙にかかる両校への取材、紙面構成等のデザインについては専門業者に委託し 魅力的な情報紙とする計画です。

| (款) 2系 | (款) 2網費 |  | 瓕 | (目) 6企画費 |  |
|--------|---------|--|---|----------|--|
| 所属     | 企画部     |  |   | 企画課      |  |

# 拡充 コンベンション誘致推進事業

1 **事業費(単位:千円)** 【財源内訳】 【主な使途】

500 一般財源 500 補助金 500

(現計予算 500 )

### 2 事業背景・目的

飛騨市は夏季の冷涼な気候と天然芝・人工芝のグラウンド環境が好評であり、サッカー・ラグビーを始めとするスポーツ大会・合宿誘致に強みを見せています。

これまであまり注目されていなかった文化・芸術、学術系の小規模合宿等にも力を入れるため、6月補正において会場使用料を助成するコンベンション開催支援補助金を新たに予算化しました。

しかし、隣接する高山市・下呂市においてもコンベンション誘致に積極的に取り組んでおり、これらに肩を並べ他市との差別化を進めるためには、更なる助成制度の拡充が必要となります。さらに、既存のスポーツ大会等においても他地域からの引き合いがあることを踏まえ、新規獲得だけでなく既存の大会等を継続誘致するためにも、より充実したコンベンション誘致制度への移行を図ります。

# 3 事業概要

## 〇コンベンション開催支援補助金(500千円)

- (1) 宿泊費助成
  - ・宿泊者一人につき 1,000 円を主催者に対して助成します。(市内延べ宿泊者数 10人以上、スポーツ大会等は 50人以上)
- (2)会場使用料助成
  - ・市内で開催されるコンベンション事業の会場使用料を主催者に対して助成します。(文化・芸術、学術等に限る)
- (3)受入体制強化助成
  - ・コンベンション事業の誘致に取り組む市内団体の誘致活動を支援します。

| (款) | 7 | 商工費 | (項) | 1 商工 | 費 (目) | 3 観光費 |  |
|-----|---|-----|-----|------|-------|-------|--|
| 所属  |   | 商工  | 観冶  | 祁    | 観光    | 課     |  |

# 拡充 北陸圏観光誘客促進事業

1 事業費(単位:千円) 【財源内訳】 【主な使途】

1,080 一般財源 1,080 広告費 1,080

(現計予算 360 )

# 2 事業背景・目的

飛騨市にとって北陸圏は重要な観光誘客ターゲット地域であり、特に富山県は飛騨市 に隣接し文化や経済面において長年交流を重ねた歴史があります。

しかし飛騨市の観光施設の利用者数統計では、富山県からの利用者数が低く、十分に 誘客しきれていないことが推察されます。

このため、飛騨市の魅力的な観光情報や話題を富山県内に随時発信し、北陸圏からの一層の観光誘客を促進します。

# 3 事業概要

# 〇飛騨市観光ツアー造成事業及び北陸圏観光 PR (1.080 千円)

北陸圏からの観光誘客として、市の魅力ある観光資源やイベントを活かした観光ツアーを企画し、北陸圏からの観光誘客に効果的な広告媒体を通じて実施します。

- (1) 富山県からのバスツアー企画実施(秋1回、冬2回)
  - ・秋の行楽シーズンに飛騨古川の町並みを散策するツアー
  - ・冬の2大風物詩を満喫するツアー (三寺まいり、飛騨神岡初金毘羅宵祭)
- (2)新聞や雑誌への広告掲出
  - ・富山県民に多く購読されている新聞・フリーマガジンへの飛騨市の観光情報や秋 冬のイベント広告を掲出

| 款  | 7        | 部工費 | (項) | 1 商工 | 貴  | (目) | 3 観光費 |
|----|----------|-----|-----|------|----|-----|-------|
| 所属 | 所属 商工観光部 |     | TI. |      | 観光 | 課   |       |

# 新規 「飛騨古川 - 新宿高速バス」利用促進啓発事業

1 事業費(単位:千円) 【財源内訳】 【主な使途】

**570** 一般財源 570 消耗品費 470

(現計予算 0 ) 食糧費 100

# 2 事業背景·目的

現在運行している高山 - 新宿間の高速バスは、10月1日より運行区間が延長され、 既存ダイヤの中から1日1往復が飛騨古川へ乗り入れされることとなりました。

これにより、利用者(市民や観光客)の利便性が高まり、観光面での誘客効果も期待されます。

市では、古川 - 新宿便の利用者に対する記念品贈呈事業や、多くの方々に周知する P R 活動等を行い更なる誘客促進を図ります。

# 3 事業概要

# ①古川 - 新宿高速バス利用者への記念品贈呈(220千円)

古川 - 新宿高速バスの運行を記念し、古川 - 新宿高速バスを利用した方に記念品を贈呈し、運行の周知と更なる利用促進を図ります。

# ②新宿駅京王モール地下街 PR イベント実施事業 (350 千円)

新宿駅京王モール地下街にある「中部地区インフォーメーションプラザ in 京王新宿」において、濃飛バス・京王電鉄バスと共同で宣伝グッズを配布するとともに、古川 - 新宿高速バスの利用啓発と飛騨市への誘客促進のための観光 PR を実施します。



(款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 3 観光費

所属 商工観光部 観光課

# 新規 「木育ひろば」設置事業

1 事業費(単位:千円) 【財源内訳】 【主な使途】

1,400 県支出金 500 備品購入費 1,400

(現計予算 0 ) 一般財源 900

# 2 事業背景・目的

市は、官民一体となって「広葉樹のまちづくり推進事業」に取り組んでおり、その中で木育の推進を重要施策と位置付けています。

28年5月には、民間団体「飛騨市の木育を広める会」が設立され、市と協力しながら、木工体験やおもちゃ広場開催など木育に関する活動が活発に行われるようになりました。

しかし、こうした木育活動に必要な資材(木のおもちゃ等)は、岐阜県庁まで借用・返却に出向かねばならず、貸出期間も限られていることから、活動に制約が生じています。

このため、県の支援が受けられる「木育ひろば」を設置することで、木育に必要な環境を整え、市内における木育活動のさらなる発展に取り組みます。

#### 【市民との意見交換会等での主な意見】

・木育イベントをぜひ継続してほしい。飛騨地区は山と木の文化が根付いている。移住してきた者としては、 素晴らしい一面だと認識している。

#### 3 事業概要

### 〇「木育ひろば」設置事業(1,400千円)

木にふれあい、親しみ、関心を持ち、学ぶ木育活動ができる場所を提供するため、県産材を活用した木製品・木育教材を備えた「木育ひろば」を古川子育て支援センター内に常設します。

当事業により購入する「木育ひろば」に必要な主な備品は次のとおりです。

- ・木育コーナー (床敷きパネル、木製おもちゃ箱)
- ・木製おもちゃ各種(まあるいつみき、つみぼぼ、ボールプール など)

| (款) | 3 民生費 | '(項) | 2児童副費 | (目) | 4地好育で支援費 |
|-----|-------|------|-------|-----|----------|
| 所属  |       | 市    | 民副部   |     | 祀醴課      |

# 拡充 障がい児通所支援給付・独自減免事業

1 事業費(単位:千円) 【財源内訳】 【主な使途】

1,600 国庫支出金 450 給付費 900

県支出金 225 助成費 700

(現計予算 36,422 ) 一般財源 925

# 2 事業背景・目的

岐阜県看護協会立の療養通所介護事業所(ナーシングデイ)が、高山市内に開所されました。この施設は、介護保険のデイサービスの一形態ですが、重症心身障がい児・者の相互利用ができ、本年9月からは、児童発達支援・放課後デイサービス、生活介護のサービスも始まります。医療ニーズが高く、多くの看護・介護を必要とする重症心身障がい児等の通所利用が期待されます。

当事業所では、食事や入浴などの日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能 訓練、必要な医療処置などが提供されます。しかし、看護師が付き添っての送迎費用 については一部利用者負担とされており、経済的な負担が伴うことから利用を躊躇さ れることも予想されます。

本事業により利用者負担を軽減することで、重症心身障がい児等の生活を支援し、合わせて家族のレスパイトを推進します。

※レスパイト・・・家族の精神的な疲労を軽減するため一般的にケアを代替する家族支援サービス

【市民との意見交換会等での主な意見】

・重度心身障がい児の家族交流会時に、ナーシングデイへの期待と、送迎費用等の自己負担について助成してほしい。

#### 3 事業概要

## ①利用予定者

- 重症心身障がい児
- ②障がい児通所支援給付費(900千円)
  - ・放課後等デイサービス給付費
- ③障がい児独自減免事業(700千円)
  - ・放課後等デイサービスの利用者負担分を助成
  - ・送迎費の利用者負担分等を助成

| (款) 3.1 | 建費(項)2 | 電船費(目)7億% | 児童技費 |
|---------|--------|-----------|------|
| 所属      | 市民福油部  | 福課        |      |

# 新規 雪下ろしサポートセンター設置事業

1 事業費(単位:千円) 【財源内訳】 【主な使途】

3,500 一般財源 3,500 委託料 3,500

(現計予算 0)

### 2 事業背景・目的

当市は豪雪地帯であり降雪量によってはシーズンに数回の住宅屋根の雪下ろしを要しますが、加齢による体力の低下や、子等が遠方に出て高齢者のみの世帯となるなど、自力や親族での雪下ろし作業が困難な高齢者等世帯が今後益々増えていくことが予想されます。

これらの方が業者へ個々に除雪作業を依頼する際に、依頼先が分からない、依頼時期が重なり雪下ろしにきてもらえないといった課題に対応するため、官民協同による雪下ろし困難世帯への支援体制を構築し、雪害を未然に防ぎいつまでも安心して住み続けられる飛騨市を目指します。

### 3 事業概要

#### ①雪下ろしサポートセンターの設置(500千円)

市民がいつまでも安心して住み続けられるよう、(一社) 吉城建設業協会への委託により、 冬季の屋根の雪下ろし作業等を受け付ける市民のワンストップ窓口を設置します。

サポートセンターでは、市民からの雪下ろし作業(有償)の依頼を受け、地域の積雪状況 や気象状況を見ながら適宜除排雪作業を事業者、協力団体、有償ボランティア等へ振り分け 実施します。

#### ②雪下ろし困難世帯の雪下ろし作業の委託実施(3,000千円)

高齢者のみの世帯等や低所得で親族等による協力も受けられないと認められる「雪下ろし作業困難世帯」に対する新たな支援制度を創設します。民生委員児童委員の協力を得て当該世帯を事前に審査登録し、登録者住宅の雪下ろし作業を市が一括して(一社)吉城建設業協会(雪下ろしサポートセンター)へ委託します。

昨年度までは世帯毎に業者等へ直接依頼し、市へ実績報告書を提出した後に助成金を受ける制度でしたが、今後はサポートセンターの判断により適宜雪下ろし作業が実施されるため利便性が高まります。

作業委託金は、登録世帯あたり 50,000 円/1 シーズンを上限とします。(上限を上回る作業料金が発生した場合は自己負担となります。)

| (款) | 3民 | 生費 (項) | 1社会福 | 遺 | (目) | 3老人福山費 |
|-----|----|--------|------|---|-----|--------|
| 所属  |    | 市      | 市民副部 |   |     | 姓きが 課  |

# 拡充 介護ロボット導入支援事業

1 事業費(単位:千円) 【財源内訳】 【主な使途】

2,781 国庫支出金 2,781 補助金 2,781

(現計予算 3,000)

### 2 事業背景・目的

介護人材の不足により、現場における介護職員の業務負担は益々増加し、介護職離れ も危惧されるなど悪循環を招いています。

近年開発が進められてきた介護ロボットの導入は、職員の身体的負担を軽減し、少人数での効率的な介護の提供を可能とすることから、介護現場の環境改善に大きく寄与するものと期待されます。

市内介護事業所における介護ロボット導入の取り組みについて、国の補助制度を活用するとともに、市としても積極的な導入支援に取り組みます。

### 3 事業概要

## 〇介護ロボット導入支援事業(2,781千円)

市内3法人より国に補助金を要望してい介護ロボットの導入事業について、全法人に対し一律927千円の補助内示を受けたことを踏まえ、これに併せて市単独の上乗せ補助金(1,000千円/法人)を交付し、市内事業所における介護ロボットの普及拡大を図るとともに介護現場での有効性の検証を行うことにより、介護人材確保対策の強化を図ります。

(市単上乗せ補助金は、6月補正予算に計上した介護ロボット導入モデル事業3,000 千円を組み替えて執行します。)

# 【市内特養での導入予定機器】

- ・たんぽぽ苑(神岡町) 腰装着型ロボットスーツ(移乗介助支援機器)
- ・さくらの郷あさぎり(古川町) 見守りシルエットセンサー(見守り支援機器)
- ・飛騨寿楽苑(古川町) 非装着型移乗介助支援機器

| (款) 3民 | 遺(項 1社会福祉 | 費(目)3老人福山費 |
|--------|-----------|------------|
| 所属     | 市民副部      | 健康生きが、課    |

# 新規 特定健診情報提供事業

1 事業費(単位:千円) 【財源内訳】 【主な使途】

**818** 特別会計繰入金 818 委託料 737

(現計予算 0 ) 手数料 81

### 2 事業背景・目的

平成30年度からの国保広域化により県と市町村が共同で国民健康保険の保険者となり、保険業務の均衡化が図られます。これにともない平成28年度から前倒し実施される「保険者努力支援制度」は、特定健診受診率、特定保健指導率、糖尿病重症化予防への取り組み等いくつかの指標の成績により補助金が交付される予定となっています。

特定健診未受診者のうち糖尿病患者に係る検査結果情報が、医療機関から市に提供された場合は、特定健診の受診者としてカウントされることから、特定健診受診率が向上することになります。

このため、市内医療機関から検査結果情報が提供される事業を行うことで、同制度に係る補助金額の拡大につなげ、ひいては保険料上昇の抑制を図ります。

また、提供された結果をもとに、医療機関と保健師が協力して継続的な生活改善指導を行います。

#### 3 事業概要

### 〇特定健診情報提供事業(818千円)

特定健診未受診者のうち、市内医療機関において糖尿病で受診されている方について、特定健診と同じ検査項目の結果を、国保連合会を経由して市に提供いただく事業を行います。

※市が本人の同意を得た上で、医療機関の情報提供を求めます。

| (款) 4衛生費 |  | (項)1保建衛生費 | (目) 3生活習慣病対策費 |  |  |
|----------|--|-----------|---------------|--|--|
| 所属       |  | 市民福島部     | 健康生きが、課       |  |  |

# 拡充 居宅介護福祉用具購入給付事業

1 **事業費(単位:千円)** 【財源内訳】 【主な使途】

1,350 一般財源 1,350 保険給付費 1,350

(現計予算 2,700)

# 2 事業背景・目的

介護人材不足、特養等施設増設難等の背景のもと、国をあげた地域包括ケアが推進されています。本市においては、在宅介護の現場で、要介護者やその家族が最も苦労している排泄介助について、負担の軽減を図ることを重要な課題と位置付けています。

そうした中、福祉用具購入の対象品目である「水洗式ポータブルトイレ」は、排泄の 自立と介護負担軽減の両面に貢献できる画期的なものとして着目していますが、購入費 用が高額であり、家計への負担が大きいことが課題となっています。

「水洗式ポータブルトイレ」の普及を図るため、購入負担を軽減し、介護家庭で導入 を促進するための事業を行います。

### 3 事業概要

#### 〇居宅介護福祉用具購入費(1.350千円)

国が定める福祉用具購入費の保険給付対象費用限度額は 10 万円となっていますが、制度に則った市の裁量により限度額を 50 万円に増額します。これにより「ポータブル水洗トイレ」の購入等に係る自己負担が軽減されます。

福祉用具購入費での市町村上乗せ給付については、全国初のケースとなります。





| 会招             | (款) 2保険計費 (項) 1介護サービス等諸費 (目) 7居宅介護部山用具購入 |  |      | 居宅介護盛山用具購入費 |         |
|----------------|--|--|------|-------------|---------|
| 介護邪険特別会計(保険制定) | 所属                                       |  | 市民部部 |             | 健康生きが、課 |

# 新規 乳用牛導入基金事業・乳用初妊牛増頭対策支援事業

1 事業費(単位:千円) 【財源内訳】 【主な使途】

17,800 県支出金 200 繰出金 17,400

(現計予算 0) 一般財源 17,600 補助金 400

### 2 事業背景・目的

古川酪農農業協同組合は、昭和 47 年に吉城郡古川町の酪農家により「飛騨古川の生乳」生産の安定化を目指し設立され、現在に至るまで農家件数の減少はあるものの、各農家の規模拡大や新規就農もあり、昨年度は山之村牧場も加わるなど、過去最大の生乳生産量を確保するまでになりました。

しかし今年度、組合内農家の廃業により生乳生産の過半を失う事態となり、このままでは生乳生産基盤の弱体化が懸念されます。そのため、乳用牛頭数の増頭を対象とした乳用牛導入基金の設立や県補助金を活用し、市民の健康に寄与する安全安心な生乳生産量の拡大と、市内酪農の安定的発展を図ります。

### 3 事業概要

#### ①乳用牛導入基金による乳用牛の貸与(17,400千円)

飛騨市における乳用牛増頭のため、新たに乳用牛の導入貸付基金を造成し、酪農経営 安定と活性化を図るための貸付制度を創設します。

- ・市が増頭のための乳用牛を貸与
- ・乳用牛貸付期間は5年以内
- ・乳用牛導入後、購入金額相当を1年据置き、5年以内で返済

### ②乳用初妊牛増頭対策支援事業(400千円)

生乳生産基盤を強化し、生乳生産量を増加することを目的に、酪農家が乳用牛の増頭を行うため、乳用初妊牛を導入する経費に対し、県の補助と合わせて8万円以内で補助します。

(対象乳用牛の条件)

(1) 乳用初妊牛であること (2) 受胎を確認できたもの

(3) 月齢 15 ヶ月から 30 ヶ月 (4) 家畜共済に加入していること

(5) ヨーネ病検査が陰性であること (6) 血統登録牛であること

 (款) 6 農林水産業費
 (項) 1 農業費
 (目) 4 畜産業費

 所属
 農株部
 農業支援センター

# 新規 女性消防団車両購入事業

1 事業費(単位:千円) 【財源内訳】 【主な使途】

1,600 県支出金 800 役務費 90

(現計予算 0) 一般財源 800 備品購入費 1,503

公課費 7

# 2 事業背景・目的

飛騨市消防団には、「古川方面隊女性分団」が組織(現在17名)されており、市民を対象にした救命講習や防火講習など女性の能力を活かした消防団活動が行われています。

市内全域を対象としていますが、講習等を行う会場までの移動に必要な専用の車両がない状況です。

このため、県の補助制度を活用し、女性分団の車両を購入・配備することで、女性が活躍しやすい環境を整え、ひいては消防団組織全体の活性化を図ります。

# 3 事業概要

#### 〇女性消防団車両購入事業(1,600千円)

県の「助成消防団員充実強化事業費補助金」を活用し、女性分団の専用車両(軽ワゴン車)を購入します。

専用車両の導入により、救急講習や防火教室などの活動を円滑に行うことができます。

※古川町内の若宮合同器具庫に配備します。

| (款) | 9} | 削費   | (項) | 1消漬 | (目) | 2非常備削費 |  |  |
|-----|----|------|-----|-----|-----|--------|--|--|
| 所属  |    | 消防本部 |     |     |     | 総殊     |  |  |